

《評価の基準》

A：計画通りの成果を得られた

C：計画通りに事業が遂行できなかった

B：一部成果を得られないものもあった

D：事業に着手できなかった

No.	3つの視点			事業名	担当課	事業内容	H29の評価と課題	評価	H30の評価	評価	今後の方針
	安全	安心	笑顔								
54		○	○	街なかにおける一時預かり事業	民間実施・市民連携室	男女共同参画の視点に立った子育て支援として、買い物や通院、リフレッシュ等のために街なかで利用できる一時預かり及び親子の遊びの広場「さんかくぼうし」を運営していきます。女性団体が実施している事業の情報提供を市民に行うとともに、ボランティアスタッフ等を対象として研修会を行い、子育て親子の支援に努めていきます。	街中での子育て支援を目的に「ナカノタナⅡ」で実施しており、イベントの開催などの工夫もあり、リピーターも多い。転勤族同士の口コミ効果で新規の利用者も増えている。一時預かりを行うための有資格者の確保が課題となっている。今後、有資格者が確保できなければ、一時預かりを継続していくことは難しい。	A	一時預かりの有資格者を常時確保することが難しく「ナカノタナⅡ」での一時預かりは現在、休止している。まちなかで子育て世代など幅広い年代が集う交流広場として各種イベントを開催するほか、買い物や通院時に、気軽に立ち寄れるリフレッシュの場としての役割を担い、新規の利用者も増えている。	B	保育士等の有資格者を確保できれば一時預かりを再開したい。それまでは、多世代交流を含む親子の遊びの広場として「さんかくぼうし」を運営していく。
75		○		保育料3子無料化	子ども課	多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、18歳未満の子から数えて第3子目以降の園児に係る保育料を無料とします。	対象となる1子目児童を小学校3年生以下に引き下げ、その財源で保育料基準額表の減額・細分化を実施するとともに、幼稚園や認可保育所に兄弟が入所している第2子の保育料を無料化した。従来の第1子目児童を18歳未満とした経過措置については29年度で終了した。	A	対象となる1子目児童を小学校3年生以下に引き下げ、その財源で保育料基準額表の減額・細分化を実施するとともに、幼稚園や認可保育所に兄弟が入所している第2子の保育料を無料化した。	-	事業終了
82	○	○		5歳児健診	健康づくり推進課	発達障害の早期発見と適正な支援を目的に実施する健診です。小学校就学前に発達の遅れを発見し、就学に向けた支援をすることを目的にします。	5歳児健診には至らなかったが、発達支援の体制として、地域の保育園、幼稚園への巡回相談を実施し、集団場面の様子を把握し、必要な児を相談につなげている。3歳児健診以降は特に集団観察が重要とされているため、人的配置等難しい面もあるが巡回相談を拡充する等、就学に向けて継続的に支援体制が組めるよう連携している。5歳児健診の実施については、支援が必要な児に介入する機会としてどのような体制をとるべきか、今後も検討が必要である。	B	発達支援の体制として、地域の保育園、幼稚園への巡回相談や個別の発達相談を実施し、集団場面の様子や発達状況を把握し、必要な児は専門機関につなげている。3歳児健診以降は特に集団観察が重要とされているため、人的配置等難しい面もあるが巡回相談を拡充する等、就学に向けて継続的に支援体制が組めるよう連携していきたい。5歳児健診の実施については、支援が必要な児に介入する機会としてどのような体制をとるべきか、今後も検討が必要である。	B	発達障がい等の早期発見と適切な支援のため、えみふるファイルを活用し、関係機関と連携し、効果的な取組について検討していく。

子ども・子育て支援の3つの視点と評価

【安全（23事業）】 A：22事業 B：0事業 C：1事業

【安心（60事業）】 A：58事業 B：2事業 C：0事業

【笑顔（29事業）】 A：28事業 B：1事業 C：0事業